



生活の中に防災の意識を

今治市防災士会 副会長
砂田 ひとみさん

防災士の資格を取得して11年になる砂田さん。防災士としてだけでなく、保護司や民生委員など、休みなく活動されています。「大変ね、とよく言われますが、日常にあふれていることをしているので、結果自分の糧になっています」

以前はスマート防災ノートを作成し、講座で教本として配布。現在はこども防災士育成やB.B（防災、バリ）カフェを運営。「小中学生7人が防災士に合格しました。学んだこどもたちは防災に長けているだけでなく、なにができるか、誰が困っているかを自分で考えて行動してくれています」

これからの防災に望むことは「災害時でも普段と同じように生活できるように、こんな時はどうしようなど普段から意識して考えてもらいたい。お互いが助け合えるような地域力が向上すればいいと思います」



▲学習会や立花・鳥生合同総合防災訓練の様子



i.i.STORY

今治にハマった皆さんに
今治の魅力や活動についてインタビュー

瀬戸内の島から生まれる、新しい働き方

株式会社むらかみかいぞく
代表取締役

村上 周平さん

「SNSやブログでの発信を通じて、都会に行かなくても地方で働けるってことを体現してきました。でも、オンラインじゃ満たされない思いがあって。リアルに会って一緒に何かを創ったり、共に学んで成長できる場をつくりたかったんです」。そう語るのは、「LLACハウス in しまなみ」を立ち上げた村上さん。昨年、吉海町に誕生したこの会員制コワーキングスペースは、SNSでつながった仲間たちと地元の友人たちの力を借りて完成。「猫のように生きる」をコンセプトに、誰もが自分らしい心地よい生き方を模索し、実現できる場を目指しています。「ここでの出会いや体験が、地元の子どもの将来の選択肢になればうれしいですね」。そんな村上さんの思いが、しまなみに新たな風を吹き込んでいます。



詳しくはこちら▶

